

九州兼喜

2023.6

No. 147

令和5年度

「全国安全週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店
安全環境部 部長 田中 秀樹

今年も『高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場』のスローガンのもと、6月1日から6月30日を準備月間、7月1日から7月7日を本週間として、労働災害を防止するために自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として、第96回全国安全週間が実施されます。

令和4年度は、全社で死亡災害0件（海外では1件）、休業災害63件、度数率は0.71で目標の0.57を達成することができませんでした。九州支店は死亡災害0件、休業災害7件、不休災害63件で度数率は一昨年度0.90に比べ1.04と増加し目標の0.57は達成できませんでした。また、前年5件だった熱中症は、25件と大幅に増加しました。これについては温暖化の影響もあるかと思いますが、慣れ・油断もあるのではないのでしょうか。

休業災害7件の内訳は、墜落3件、転落1件、転倒2件、高所作業車の転倒1件です。10月に1件、12月には2件の墜落災害が発生し、2年ほど発生が無かった墜落災害がまとめて発生しています。1件目は2階の床端部手すりの外側で安全帯を掛け、養生白シートを敷き終わり手すりの内側に戻る時墜落。2件目は塗装工がステージ足場の仮設開口脇で胴巻安全帯のランヤードが引っ掛かり後ろに引っ張られ仮設開口部から墜落。3件目は屋根工が鉄骨梁上でタイトフレームの取付の段取で親綱を張りなおしていた時、スタクションが外れ墜落。となっています。全社的にも墜落災害が多発しており、社長より「安全帯100%使用の実現」に向けて取り組むよう指示がありました。関係者全員が他人事ではなく、自分事としてとらえ真剣に取り組んでいただきたいと思います。また、同時に常にダブルセーフティを行い、たとえ、掛け替えのミスがあったとしても、水平ネットで墜落を防ぐといったような対策を必ず講じることで、ヒューマンエラーを起こしても重大災害には至らない方策を行うことが重要です。日々の作業に関し、より安全で働きやすい環境を整備することも重要なことだと思います。

令和5年度の九州支店安全衛生計画は、『ゼロ災を達成するための行動規範』として、

1. 『墜落・転落災害の撲滅』
2. 『建設機械・クレーン関連災害の撲滅』
3. 『倒壊・崩壊災害の撲滅』
4. 『公衆災害・インフラ損傷事故・火災の撲滅』
5. 『不安全行動の撲滅』

の5項目に加え、九州支店独自の重点施策として、九州安全文化の復活に向け、行動災害の撲滅を図る。をスローガンとして

- 1 『強弱をつけた安全パトロール』の更なる強化
- 2 『事故事例の確実・早急な水平展開』
- 3 『検討会資料の事前確認』と『部署主導の安全検討会』の充実
- 4 『足元を整備する』

の4項目に取り組み、より一層の災害撲滅を目指します。

『強弱をつけた安全パトロール』の更なる強化については、重点管理現場だけでなく、定用も含めた全現場の状況（重要得意先、作業環境、工程の逼迫、インフラリスクが高い、大型現場で目が行き届きにくい等）に応じて強弱を決め、留意現場を支店幹部、部署長、地域統括、安全環境部等が巡回を強化し現場の安全管理の支援、強化を行うべく支店全体で取り組んでいきます。また、兼喜会、災防協、事業主による巡回もあわせて強化していただき、重大災害防止にご協力をお願いします。

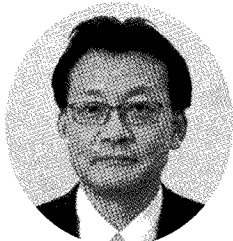
『足元を整備する』では、足元の整備された現場では事故無し!とされています。建設業の高齢化に伴い、転倒災害が増加していることは周知のとおりですが、経験の浅い作業員や両手に荷物を抱え足元が見えない状態での転倒などもあり、また、立ち馬などの可搬式作業台からの転落や高所作業車の転倒といった基本的なルールを逸脱した使用や、ルールの不徹底も散見され、「凡事徹底」の実践をより一層お願いします。

新型コロナウイルス感染拡大についてですが、5月8日に5類に引き下げされましたが、まだ脅威が無くなったわけではありません。専門家は、感染力の強い変異株「XBB.1.5」の占める割合が高まっているほか、これまでに獲得した免疫が、時間の経過とともに減弱していくため、今後、「第9波」が起る可能性が高いとの見解を示しています。油断せず引き続き、基本的な感染対策を行うとともに、周囲の状況や場面に応じ、適時適切に対応をしてください。

また、今年はずでに30度を超える真夏日を観測しているところもあり、暑くなることが予想されます。熱中症対策を早めに備え、教育・環境整備・健康管理・巡回指導を習慣化するとともに、災害防止活動にご協力をお願いします。

※全国安全週間ポスターは6ページにあります。

着任のご挨拶



清水建設(株) 九州支店
執行役員支店長

湯原 克佳

4月より、九州支店に着任いたしました湯原克佳と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

兼喜会の皆様方には、日頃より多大なるご協力を賜りまして厚く御礼を申しあげます。

私は、東京都生まれ、1991年(平成3年)に清水建設に入社いたしました。最初は北海道支店、その後は東京支店での現場勤務を経て、東日本大震災の発生した2011年より本社勤務(企画・調達)を4年経験し、2015年に現場に復帰、その後2017年から6年間再度本社で勤務し本日に至ります。

九州支店は、本社勤務時に巡回という接点しかありませんでしたが、熱い志を持った方が多い支店と常に感じておりました。着任してまだ1か月あまりですが、九州兼喜会の方々と接する中で、思ったとおりその志の熱さを実感、共感させていただきました。より深く九州を知り、学ばせていただきたく今後ともご指導をいただければ幸いです。

ご承知のとおり5月8日から、新型コロナは季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられました。約3年続いたコロナ禍から、社会活動の正常化へ向けて大きな転換点となります。第8波を超える規模の「第9波」が起こる可能性が高いという見解もありますが、制限はコロナ禍以前に戻り、今までの三密回避ではなく、親密で良好なコミュニケーションをとりやすくなり、更なる現場の活気、活力につながっていければと期待しております。

入社以来、自分を育て、そして助けていただき

ながら、一つ一つの現場を協働でつくり上げてきた経験は、私にとって財産であり、兼喜会の皆様には、感謝の念に堪えません。

今までの経験を踏まえ、私の「安全」に対する想いを共有させていただきます。これまで私が担当した現場で発生した事故において、被災された方の悲痛な想いや仲間の心配な想い、そしてご家族の辛い想いにも直接触れたことがあります。今でもこの経験での反省は「安全」に対する自分の戒めとしております。その戒めとして自分が担当した現場のスローガンは「自分を守る!仲間を守る!家族を守る!今日も1日笑顔でお家に帰りましょう!」として朝礼看板に掲示しました。「自分を守る」はもとより、相手のことを思いやる「仲間を守る」ことも大切であり、その実践のためには、お互いに言い合える、言いやすい環境づくりが重要と考えております。想いを共有し実践していくことは難しいことでしたが、兼喜会職長の方々が中心となって、繰り返し、粘り強く声を掛け合う環境づくりをしてくださり、作業員の皆様と想いを共有し続けることができました。大変感謝しております。九州兼喜会の皆様ともご指導をいただきながら、一刻も早く仲間入りし信頼関係を築き、なんでも言いやすい風通しのよい環境づくりができればと考えております。

2023年度は、2024年度の時間外労働時間の規制に向けた転換年度であり、繁忙の年でもあります。その中で、安全に品質の良いものづくりをしていくという、対立しがちなこの課題を解決していくためには九州兼喜会の皆様と一緒にスクラムを組んでいかななくてはならないと考えております。繰り返しになりますが、是非お知恵、ご指導をいただき、これまで築き上げてきた九州支店の歴史に恥じない新たなページを刻むべく、共に盛り上げていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

終わりとなりますが、兼喜会各社のご隆盛とご繁栄を祈念しご挨拶とさせていただきます。

着任のご挨拶



清水建設(株)九州支店
副支店長

一瀬 康弘

この度、4月1日付けで九州支店副支店長を拜命いたしました一瀬と申します。土木全般を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。九州兼喜会の皆様には、日頃より当社のような活動にご理解とご協力を賜り、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

私は、平成3年に清水建設に入社し、最初の配属先は、群馬県の北陸新幹線里見(サトミ)トンネルの現場でした。当時、長野オリンピックに向けて、急ピッチで工事が進められ、全員がいつしよに住んでいるプレハブの飯場生活で、かなり辛かった記憶もありますが、そこで出会った人々とのつながりやトンネル工事の基礎をしっかりと学べたこと、何より、トンネル貫通の感動を体験できたことが今の自分の成長に繋がっていると感じています。最近、若い職員に話すと長野オリンピックをリアルで見えていない人や生まれていない人も多く、あらためて年月の経過を感じるころですが…。その後平成7年に定期交流で九州支店に異動となり、国道や高速道路、新幹線のトンネル等、本当にトンネル工事だけを行ってきた感じですが、工事長になってからは、新幹線の高架橋やダム現場、営業、土木の内勤を経験させて頂き、現在に至っています。私は、温泉やいちご、ラーメン、金栗四三が有名な(そこまではないかもしれませんが)熊本県玉名の出身で、平成7年から28年間、九州支店で働いていること、そのうち約15年間は熊本で働いたことを大変うれしく思っています。

これまで現場では、私は「思いやり」を所長方針として取り組んでまいりました。まずは周辺環境、地元の皆様への思いやり。次にいつしよに働く仲間に対する思いやり。最後に道具や機械、物に対する思いやりです。これから先、2024年問題や物価高騰、働き方の変化や多様性等、様々な変化が求められます。これまで当たり前だったことを変えなければならないこともあるでしょう。それには勇気や努力が必要かもしれませんし、いろいろな抵抗もあるかもしれません。益々いいコミュニケーションが必要です。どうかお互いが尊敬し合い、みんなが相手に対する思いやりを持って、これから先の成長のためにも、いいコミュニケーションを継続させ、柔軟な発想で変化に対応していきましょう。

一方で私たちの仕事には、お客様への確かな品質のご提供と現場における安全確保という不変なものもあります。変えなければならないところと変えてはいけなところがあるかと思いますが、これからも九州兼喜会の皆さまといつしよになって、この変革の時代を乗り越えていきたいと思っておりますので、引続きのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

私も微力ながら、九州支店、九州兼喜会の業績に貢献できるよう、またみんなが明るく元気に働きやすい、働きがいのある支店となるよう頑張っております。

最後になりますが、九州兼喜会の益々のご発展と会員各社の皆様のご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和5年度 清水建設九州兼喜会 並びに 清水建設九州支店取引業者災害防止協議会 定時総会

日 時	令和5年3月1日（水）
場 所	ホテルニューオータニ博多
出席者	98名

— 式 次 第 —

（司 会） 理 事 山元 健蔵

1. 令和4年度会員物故者の黙祷

1. 開会の辞 副会長 杉山 英治

1. 会長挨拶 会 長 篠森 義晴

1. 新入会員の紹介

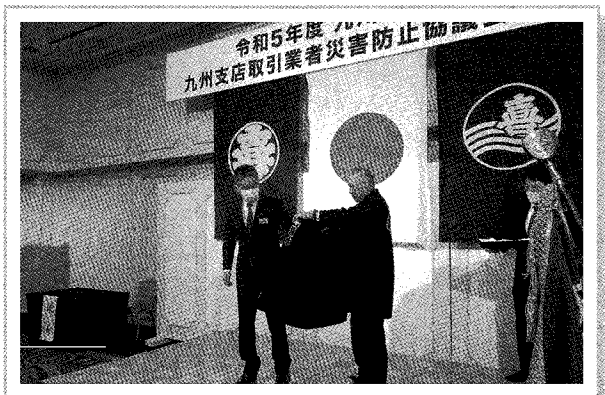
1. 議長選出

（議 事）

- (1) 令和4年度兼喜会 災害防止協議会 事業報告
- (2) 令和4年度兼喜会青年部 事業報告
- (3) 令和4年度兼喜会 災害防止協議会 決算報告
- (4) 令和4年度兼喜会 災害防止協議会 会計監査報告
- (5) 令和5年度兼喜会 災害防止協議会 事業計画(案)
- (6) 令和5年度兼喜会青年部 事業計画(案)
- (7) 令和5年度兼喜会 災害防止協議会 予算(案)
- (8) 会員の動向、その他

1. 閉会の辞 副会長 日高 輝幸

定刻通り山元理事の司会で開催され、杉山副会長の議長によりそれぞれの議案が審議され、無事承認されました。



兼喜会議事録

○理事会

と き	1月12日(木) 10:30~
と ころ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 令和5年度九州兼喜会定時総会の件
2. 令和4年度決算報告
3. その他

○理事会

と き	2月8日(水) 10:30~
と ころ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他7名

【議 題】

1. 令和5年度九州兼喜会定時総会の件
2. 第1回全国連合兼喜会支部長会議の件
3. 青年部
4. その他



○全九州役員会

と き	3月1日(水) 14:30~
と ころ	ホテルニューオータニ博多
出席者	篠森会長他16名

【議 題】

1. 令和5年度九州兼喜会定時総会の件
2. 全国連合兼喜会第64回定時総会(東北大会)の件
3. 西日本地区交流会の件
4. 青年部
5. 安全大会の件
6. その他
7. 各支部の意見

○理事会

と き	3月8日(水) 17:00~
と ころ	武雄市
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 令和5年度九州兼喜会定時総会を終えて
2. その他

○理事会

と き	4月5日(水) 12:00~
と ころ	兼喜会事務所
出席者	調達部より 谷口部長 様 篠森会長他8名

【議 題】

1. 第1回全国連合兼喜会支部長会議報告の件
2. 第2回全国連合兼喜会支部長会議の件
3. 全国連合兼喜会定時総会(東北大会)の件
4. 全国連合兼喜会定時総会(九州大会)の件
5. 青年部
6. 伊勢神宮参拝の件
7. その他

○青年部幹事会

と き	1月30日(月) 12:00~
と ころ	支店5階会議室

と き	2月27日(月) 12:00~
と ころ	兼喜会事務所

と き	3月27日(月) 11:30~
と ころ	兼喜会事務所

と き	4月27日(木) 12:00~
と ころ	兼喜会事務所

全国安全週間 + 7/1~7

準備期間
2023 6/1~30



諸行事

新春祈願

日時/令和5年1月4日(水)
時間/7:45~
場所/警固神社

豊川稲荷祭

日時/令和5年2月8日(水)
時間/8:45~
場所/支店社屋上

安全祈願祭

日時/令和5年1月12日(木)
時間/8:00~
場所/大本山成田山久留米分院

伊勢神宮参拝

日時/令和5年4月14日(金)
場所/伊勢神宮



伊勢神宮参拝

会員の動向

会員名変更

○(株)天久重機 (クレーン) R5.1.20変更
旧会員名: 赤嶺 敬→新会員名: 赤嶺 太一

新入会員

○(株)サンエーテクノ (鉄筋) R5.1.1
会員名→秋永 正信

〈訃報〉

謹んでご哀悼の意を表します。

○(株)高倉工務店
高倉 敏博 殿 (64歳)
令和5年1月31日ご逝去



発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110